

副センター長を全国公募 金森さんに委嘱状



金森大輔プロジェクトマネージャー(左から3人目)ら4人を新たに迎えて結成した「チームガキビズ」＝大垣市小野、情報工房

「ガキビズ」相談体制強化

中小企業・小規模事業者の売り上げ増に向けた具体的提案を行う大垣ビジネスサポートセンター(ガキビズ)を運営する産官学連携組織「大垣地域経済戦略推進協議会」は8日、副センター長に当たるプロジェクトマネージャー(PM)に選ばれた金森大輔さん(39)ら4人に辞令書や委嘱状を交付した。今夏をめどに正田嗣文センター長(38)を中心にした6人の「チームガキビズ」による相談・支援を始動させたい考え。

(古家政徳)

ガキビズは昨年7月の開所以来、相談は約2カ月待ちの状態が続く。大垣西濃信用金庫の臼井孝優事業支援部長(46)が昨秋にアドバイザーに就くなど対処してきたが、並行してPMを全国公募した。東京都出身の金森さんはキャリアクティブビジネスなどを行う小学館集英社プロダクション(東京)に約15年間勤務。応募者154人から選ばれた。

併せてアドバイザーに同金庫の若山謙一地域振興課長(45)が、ITアドバイザー

に同市の情報通信会社グレートインフォメーションネットワークの堀仁美さん(32)が、デザインアドバイザーに同市内でデザイン事務所を営む伊藤由香子さん(43)が就くことに。

辞令等交付式は大垣市小野の情報工房であり、会長の堤俊彦大垣商工会議所会頭は「6人で心を一つに大垣地域のため汗をかいて」と激励。金森さんはビズモデル型支援の根本となった静岡県富士市産業支援センター「エフビズ」での研修を経て、8月下旬からガキビズでの業務に加わる。